

2016年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	視覚表現論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(デザインコース) 選択科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース)						
担当者	嶋崎 浩樹						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の様々な出来事を視覚表現された情報と認識できる。(A6) ・プレゼンテーションにおける最適なメディアを選択できる。(D2) 						
日程と内容	04/08 第1回:導入講義:本講義における視覚表現の定義について 04/15 第2回:空間1 建築の思考:言葉と画 04/22 第3回:空間2 建築の表現:図面と模型 04/30 第4回:空間3 建築の伝達:メディアとプレゼンテーション 05/06 第5回:空間4 都市の認識:情報の重り 05/13 第6回:空間5 都市の体験:選択のつながり 05/20 第7回:空間6 ネットワークとの接続:階層の横断 05/27 第8回:空間7 ネットワーク空間:検索と遭遇 06/03 第9回:映像1 映画:断片と繋がり 06/10 第10回:映像2 ゲーム:稚拙さとリアリティ 06/17 第11回:映像3 写真:時間との対峙 06/24 第12回:平面1 ピクトグラム:出来事の抽象化 07/01 第13回:平面2 ダイアグラム:事象の抽出 07/08 第14回:平面3 ドローイング:非現実の現実 07/15 第15回:まとめ 07/22 第16回:定期試験						
成績評価基準	04/08 第1回:導入講義:本講義		70%	実技	0%		
	臨時試験		0%	部外評価	0%		
	報告書・レポート		30%	プレゼンテーション	0%		
	課題		0%				
	演習		0%	計	100%		
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の様々な出来事を視覚表現された情報と認識できる。(A6) 達成した。 ・プレゼンテーションにおける最適なメディアを選択できる。(D2) 達成した。 						
反省点	受講生の自主的発言を重視したが、知識の偏りから、なかなか深い考察までは入り込むことが難しかった。						
来年度の計画	事前にトピックを公開し、下調べを課題として取り組ませることで内容を深く理解できるように努める。						
授業評価アンケートに対するコメント	特に無し						
履修登録者数	22名	定期試験受験者数	21名	合格者数	21名	合格率	100%